

1 作付計画新規作成

1 作付計画一覧

進行中/完了	年度	作付計画名	品種	圃場	期間
進行中	2022	コシヒカリ (慣行) 2022	コシヒカリ	89.9899 a 3圃場	2021/11/01 ~ 2022/10/31
進行中	2022	コシヒカリ (特裁) 2022	コシヒカリ	121.36 a 4圃場	2021/11/01 ~ 2022/10/31
進行中	2022	あきたこまち 2022	あきたこまち	69.6673 a 3圃場	2021/11/01 ~ 2022/10/31
進行中	2022	飼料米 2022		88.4799 a 3圃場	2021/11/01 ~ 2022/10/31

メニューの「作付計画」のアイコンを選択します。
左上の「追加」をクリックし、ポップアップウィンドウの「新規作成」か「コピーして作成」を選択します。

「コピーして作成」の場合は、
コピーする作付計画を選択します。

2 概要画面

必須項目は「作付計画名」「年度」「作業予定期間」です。

右上の「保存」をクリックすると作付計画作成が完了します。
「圃場」「農業」などの各画面は作付計画作成後に編集できます。

2 各画面編集

I. 圃場

1 一覧



「圃場」のタブをクリックすると作付計画に紐付いている圃場が一覧表示されます。
「編集」をクリックすると編集画面に移動します。

2 編集



作付計画に紐付ける圃場を選択します。
リストからでもマップからでも選択できます。

II. 農薬

1 一覧

圃場ID	散布量	希釈倍数	圃場合計
三島001	100 L/10a	1000 倍	284.7 L
三島002	100 L/10a	1000 倍	298.7 L
三島003	100 L/10a	1000 倍	301.4 L
三島004	100 L/10a	1000 倍	299.8 L
下野001	100 L/10a	1000 倍	296.2 L

「農薬」のタブをクリックすると左側に使用する農薬が一覧表示されます。右側で圃場ごとの散布量を確認できます。「編集」をクリックすると編集画面に移動します。

2 編集

- ①「追加」をクリックして農薬追加します。
- ②全圃場に対して農薬リストで設定している散布量から変更する場合は「一括設定」をクリックします。
- ③圃場ごとの散布量を変更できます。

3 作業項目選択



追加した農薬を使用する作業項目を選択してください。

Ⅲ. 肥料

1 一覧



「肥料」のタブをクリックすると左側に使用する肥料が一覧表示されます。右側で圃場ごとの散布量を確認できます。「編集」をクリックすると編集画面に移動します。

2 編集



- ①「追加」をクリックして肥料追加します。
- ②全圃場に対して肥料リストで設定している散布量から変更する場合は「一括設定」をクリックします。
- ③圃場ごとの散布量を変更できます。
- ④「可変施肥」*「固定施肥」「無施肥」を選択します。
*可変施肥の詳細についてはP.22をご覧ください。

3 作業項目選択



追加した肥料を使用する作業項目を選択してください。

IV. 資材

1 一覧

内容	グループ	使用量	単位	単価	金額 (円)	購入日	メモ
床土	床土	100	kg	200 円/kg	20,000		
種子	種子	100	kg	2,000 円/kg	200,000	2022/03/01	JAより購入
苗箱	その他	500	枚	0 円/枚			

使用する資材が一覧表示されます。「編集」をクリックすると編集画面に移動します。

2 編集

内容	グループ	使用量	単位	単価	金額 (円)	購入日	メモ
床土	床土	100	kg	200 円/kg	20,000		
種子	種子	100	kg	2,000 円/kg	200,000	2022/03/01	JAより購入
苗箱	その他	500	枚	0 円/枚			
育苗用マット	床土	200	枚	150 円/枚	30,000		

「追加」をクリックし、行を追加します。資材の情報を入力し、「保存」をクリックします。単位は手入力で自由に作成することもできます。

旧KSASの「種子情報」「育苗情報」欄について

- ・旧KSAS作付計画の「種子情報」「育苗情報」欄を廃止し、新KSAS資材画面に機能の一部を移管します。
- ・旧KSASに入力している「使用量」「単価」「金額」情報は新KSAS資材画面に自動データ移行されます。
- ・新KSAS作付計画リリース日(1/19)時点の旧KSASデータを移行しますが、その後旧KSASの「種子情報」「育苗情報」欄を修正しても新KSASには反映されませんのでご注意ください。

V. パラメータ

1 収量

日誌で収量を記録するための、容器名・容量、品質・規格を登録します。

2 食味・収量センサ付きコンバイン（稲・麦・大豆のみ）

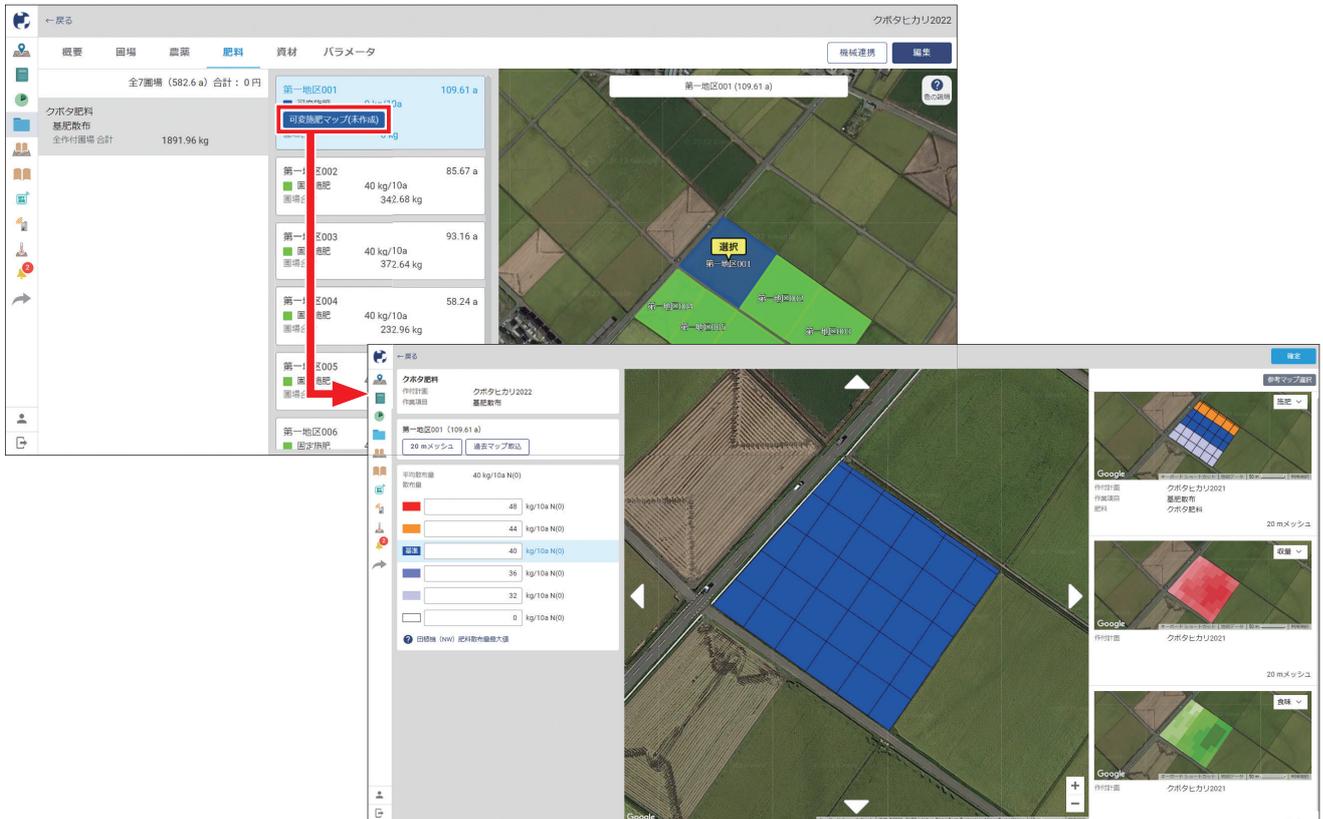
食味・収量センサ付きコンバインを使用する際の基準値等を設定します。
基準値は地域や、お客様ごとに異なる場合がございますので、必要に応じてあらかじめ基準値を変更してご利用ください。

3 乾燥調製システム（野菜の作付計画にはありません）

乾燥調製システムを使用する際の計算値等を設定します。

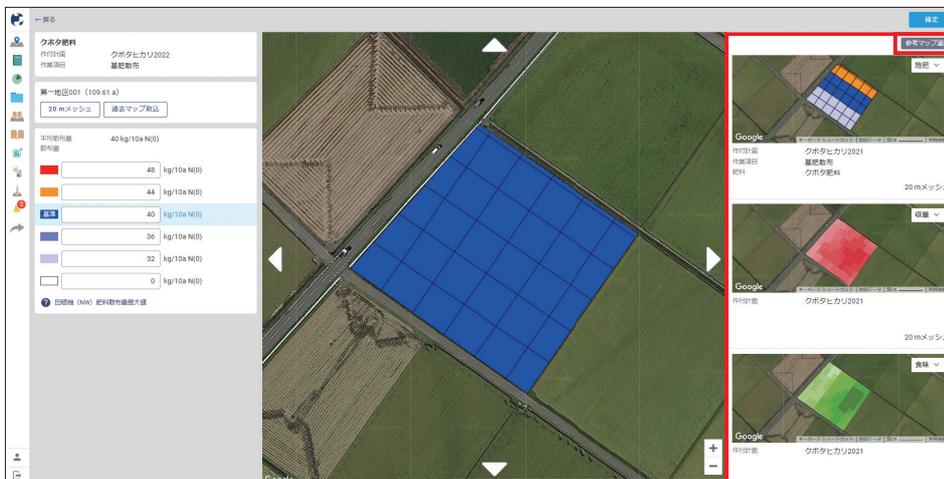
可変施肥マップ

1 可変施肥マップ初期画面



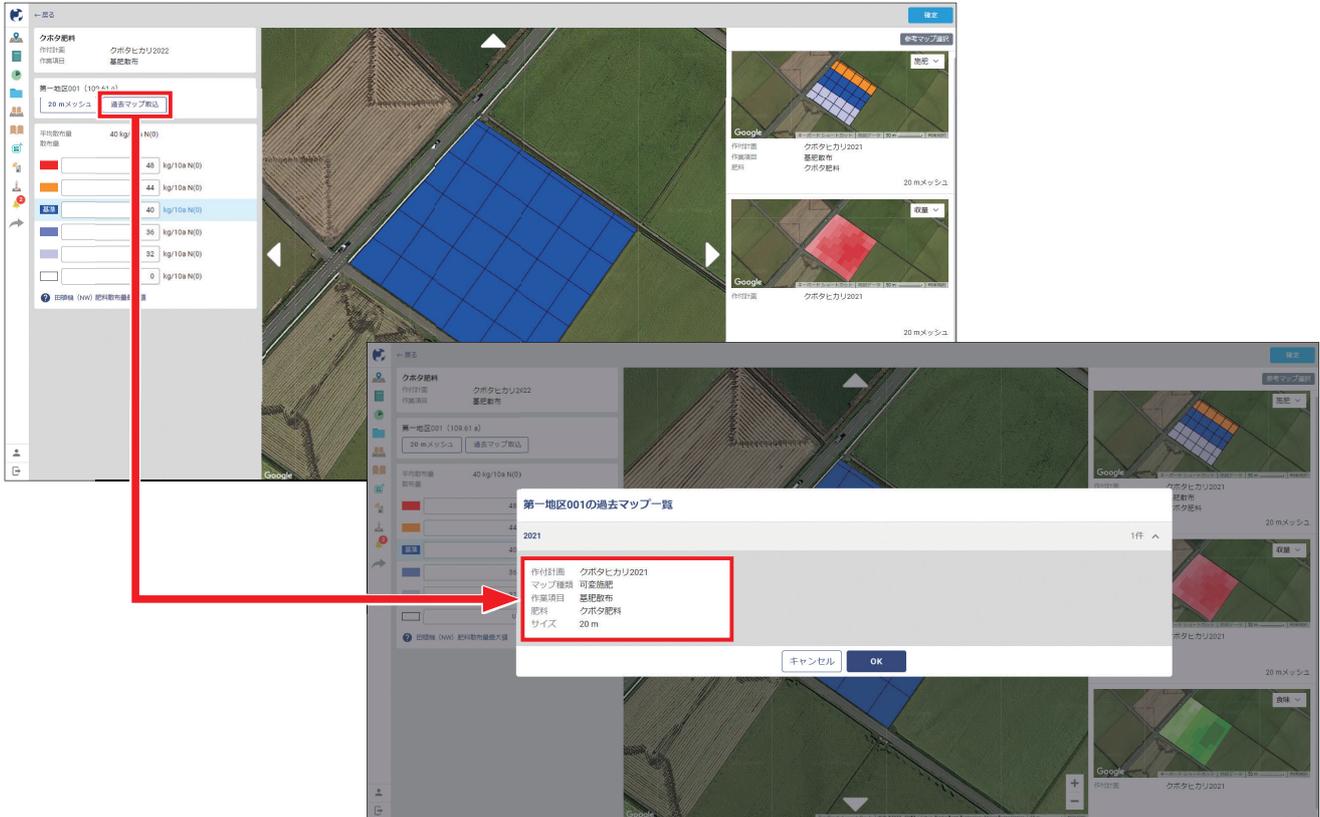
「可変施肥マップ (未作成)」をクリックすると、可変施肥マップを作成する画面が開きます。

2 参考マップ



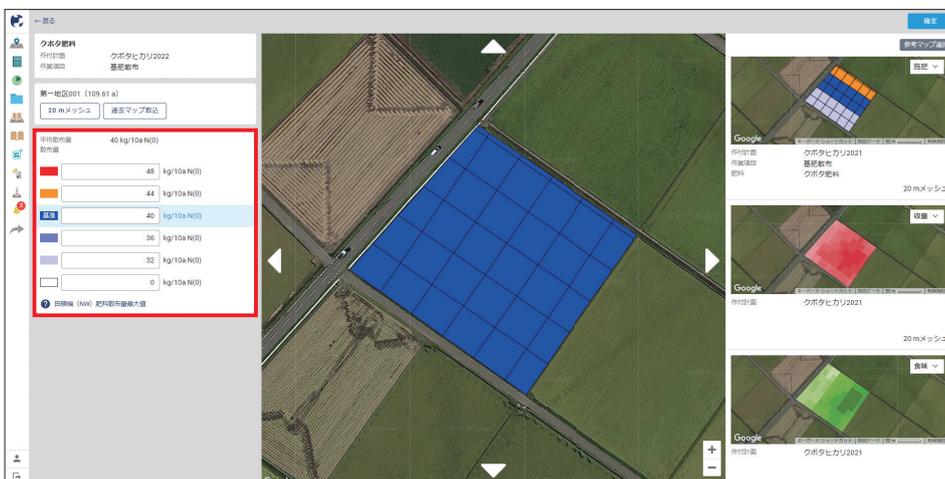
過去に作成した同じ圃場の可変施肥マップや食味収量メッシュマップがあれば、右側に直近3つが表示されます。過去のものを選択したい場合は「参考マップ選択」をクリックして、表示したいマップを選択します。

3 過去マップ取込み



過去に作成した同じ圃場の可変施肥マップがあれば、そのまま今回の可変施肥マップに反映することができます（その後修正も可能です）。

4 可変施肥量の設定



設定している施肥基準量から2割増～2割減・施肥量ゼロが設定されていますが、手動で数値を入力し変更することも可能です。

5 可変施肥マップ作成

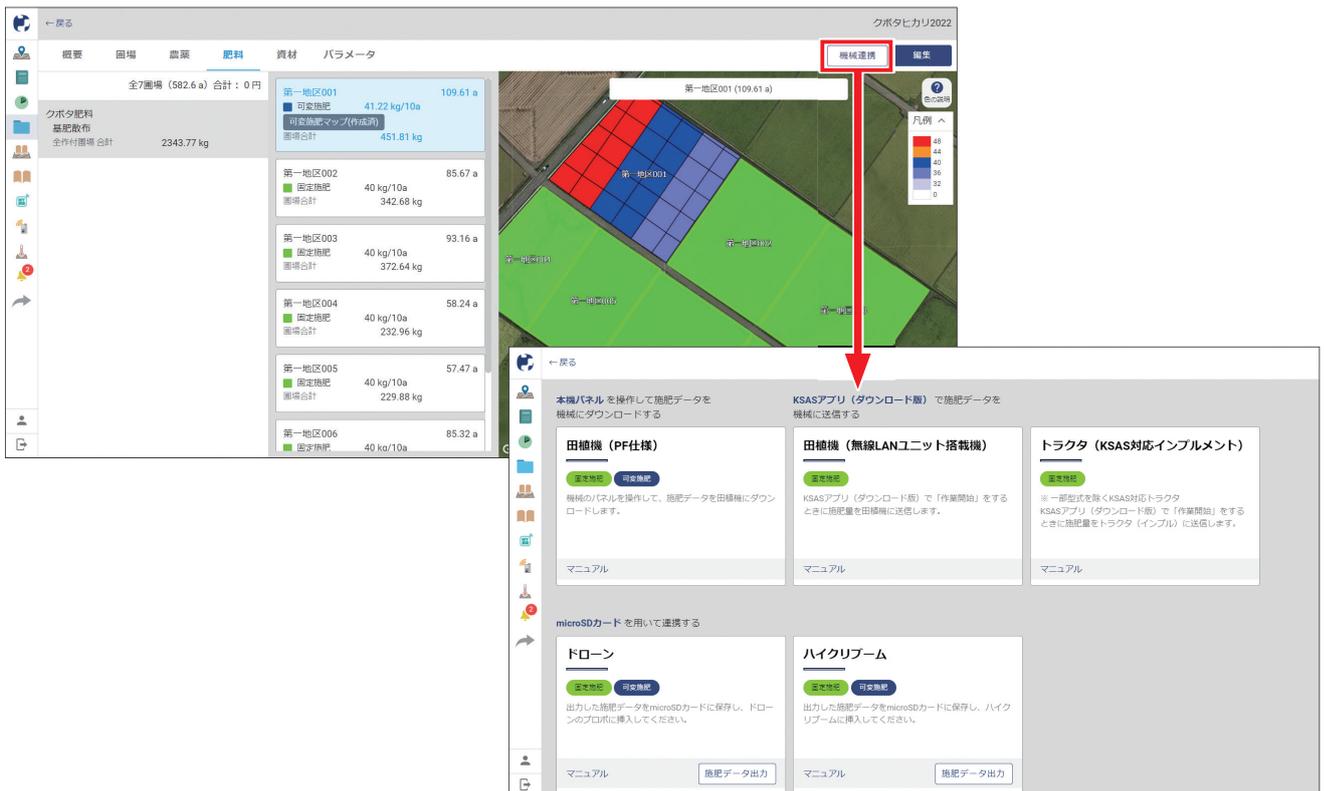


施肥量(色)を選択した状態で、メッシュ上をドラッグして可変施肥マップに色を塗ります。完了したら「確定」をクリックしてください。

メッシュサイズは下記の通り設定可能です。

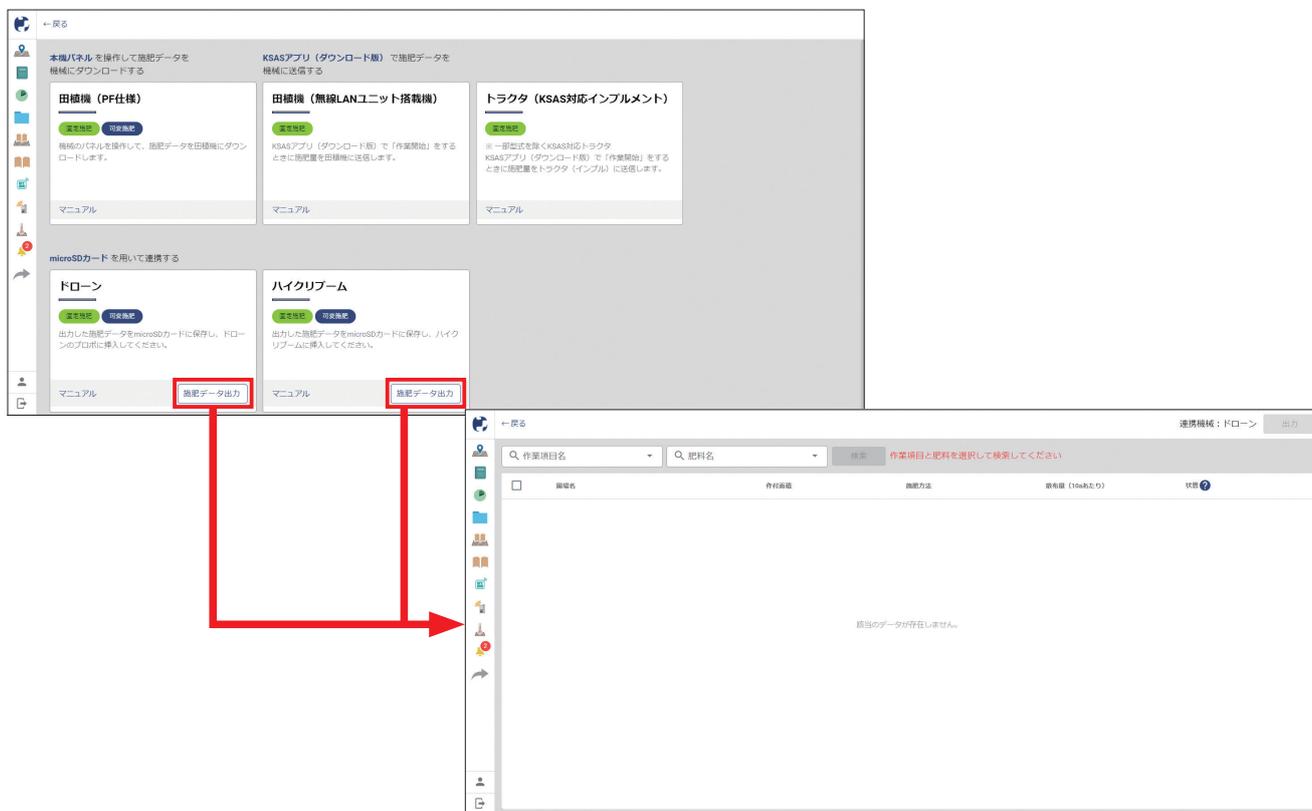
田植機：20m/15m/10m/5m、ドローン：15m/7.5m(散布幅 7.5m時)、20m/10m(散布幅 10m時)、ハイクリブーム：15m/7.5m

6 機械連携



「肥料」画面に戻り、「機械連携」をクリックすると、各機種との連携方法が表示されます。

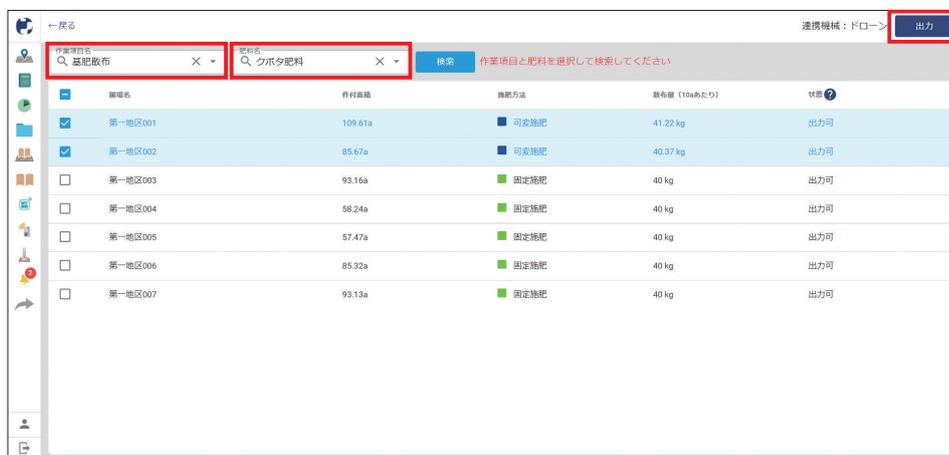
7 ドローン・ハイクリブーム 施肥データ出力



「施肥データ出力」ボタンをクリックしてください。

※該当機をKSASに紐づけていない場合、ボタンをクリックすることができません。

8 圃場選択・出力



作業項目名と肥料名を選択して検索し、

出力したい圃場にチェックを付けて「出力」をクリックしてください。